

1 事業情報

下水道事業評価(令和7年度)

担当課

下水道維持課

実施方針	Ⅱ 安全・安心な暮らしの実現	施策目標	2 地震に対する防災・減災を推進します	施策	① 管路施設における耐震化の推進
------	----------------	------	---------------------	----	------------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
施策目標	大規模地震災害時においても下水道の機能を確保するため、下水道施設の耐震化(防災対策)と被害の最小化(減災対策)を組み合わせることにより計画的な地震対策に取り組みます。							
施 策	新設する管きょは、各種耐震対策指針に基づき、可とう性継手を用いるなど耐震性の強化を図ります。一方、既に埋設されている重要な管きょ、(避難所からの汚水を受ける管きょ、緊急輸送道路下にある管きょ、河川や軌道を横断している管きょ)については、優先的に管更生などの耐震化を進めます。また、緊急輸送道路下にあるマンホールのうち、液状化によるマンホール浮上の恐れがあると判定されたマンホールについては、優先的に浮上防止対策を行います。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	総合地震対策計画(第3期)に基づき、令和7年度から11年度までの5年間で計画を実施します。(緊急輸送道路の範囲拡大や避難所からの管路、44,000mを追加したため耐震化率は落ちている) ・管きょの地震対策としては、耐震化工事を実施します。 ・マンホール浮上防止対策は浮上防止工事を行います。							
期間	令和7年4月		～	令和8年3月				
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	336,625	11,550	325,075	226,508	11,447	215,061	67%
	工事費	314,948		314,948	205,568		205,568	65%
	原材料費	0			0			
	委託料	21,677	11,550	10,127	20,940	11,447	9,493	97%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
	人件費	7,055			7,055			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	82,264千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	24%		
進捗状況	更生・マンホール浮上防止工事についてはほぼ設計済です。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・管きょの地震対策として管きょ更新のための更生工事を286m実施しました。 ・マンホール浮上防止対策として18基の対策工事を行い、管きょ更新のための管更生実施設計272mを行いました。 ・下水道管更生工事1件を繰越しています。
------	---

5 指標

指標					R7	R8	R9	R10
指標名	汚水管きょ更生工事(地震対策)	単位	m	目標値	335			
算出式・根拠					実績値	286		
指標名	マンホール浮上防止対策率	単位	%	目標値	65.6			
算出式・根拠	(浮上防止対策済マンホール数/対象マンホール数)×100				実績値	62.9		
指標名	重要な幹線等の耐震化率	単位	%	目標値	46.8			
算出式・根拠	(耐震化済延長/重要な幹線等の総延長)×100				実績値	46.7		

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A	組織	情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B	学習	知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
・繰越し工事があるため、目標値と実績値に差がありますが、事業の進捗としては予定通りです。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・財源のうち国庫補助金である社会資本整備総合交付金が、市の要求額より少ない年度もあり、年次計画に影響を受けています。引き続き、国庫補助金の交付に関して、国に要望していきます。	現状維持で継続